

## 第4回 津山市教育振興基本計画検討委員会 会議録【概要版】

○日 時 令和3年10月22日（金）13:30～15:36

○場 所 津山市役所 202会議室

○出席者

・津山市教育振興基本計画検討委員 7名

委員長 住野好久（中国学園大学・中国短期大学副学長）

委員 寺元貴幸（津山工業高等専門学校教授）

櫛田晃稜（津山市PTA連合会会長）

仁木かおり（津山教育事務所指導主事）

北山浩二（津山市立中学校長会長）

小池尚（津山市立小学校長会長）

矢野佳子（津山市立幼稚園長会長）

・事務局 教育長、教育委員会関係部課長等 11名

### 1. 開会

### 2. 委員長あいさつ

### 3. 前回委員会会議録の承認

一全員賛成 承認

### 4. 議事

（1）意見・指摘事項等について

（事務局説明）

- ・前回の検討委員会でいただいたご意見、ご質問に対する考え方及びご指摘を受け対応した部分を説明。

（2）第3章について

（事務局説明）

- ・第3期計画で新たに出てきた取組や基本目標の柱となる取組を中心に、主な取組内容と目標指標を説明

#### 【1】自立

ア. 主体的に学ぶ意欲の育成

②個別最適な学びと協働的な学びのためのICT教育の推進

③ICTを活用した先進的な授業展開のあり方の調査・研究

⑦キャリア教育の推進

⑨学び直しの機会の提供

## イ. 確かな学力の向上

- ① 幼児教育と小学校教育の滑らかな接続（保幼小の連携）
- ② 学力の実態把握（教育データの活用）
- ④ 「学びのサイクル」の具体化・見える化
- ⑤ 読解力の向上

## ウ. 健やかな心と体の育成

- ① 子育て支援の充実
- ② リズムジャンプ等を取り入れた体力の向上
- ⑤ 「食べる力」の育成と魅力ある献立づくり
- ⑨ 長期欠席・不登校への対策
- ⑩ 児童生徒の相談・支援体制の充実

### （委員からの意見）

- ・ コロナ禍における学習保障の取組を記載してはどうか。
- ・ ICT機器を使うことが目的になってしまわないかという懸念がある。しっかりと活用するために、支援体制も整えてほしい。
- ・ 特別教室等のネットワーク環境整備も進めてほしい。
- ・ 「キャリア教育の推進」の目標指標を、教員の視点からの指標にしてはどうか。
- ・ 幼児教育と小学校教育の滑らかな接続（保幼小の連携）の目標指標は、子ども同士・職員同士の交流回数よりは、アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムが作られているか、それに基づく教育がどのくらいの園・小学校で実施されたかのように、円滑な接続に関する取組を評価する方が適当ではないか。
- ・ 教育データの活用は、目的や対象を明確化した方がいいのではないか。
- ・ セキュリティや個人情報の取扱いに関する事項を記載してもいいのではないか。
- ・ 英語力の向上には「話すこと」「書くこと」両方のバランスの取れた視点が必要だと思う。
- ・ 「子育て支援の充実」の目標指標は、利用者の満足度や支援内容の質を計る指標としてはどうか。
- ・ 『食べる力』の育成と魅力ある献立づくりの目標指標は、個人の食べる力の育成という目的に沿った指標にできないか。
- ・ 「長期欠席・不登校への対策」の目標指標は、取組内容の質を計る指標にしてはどうか。

## 【2】 つながり

### ア. 自他を尊重する心の育成

- ① グローバル化に対応する教育の推進
- ② 多様性を認め他者を思いやる心の育成（人権教育の推進）

### イ. 人や地域との豊かな人間関係の構築

- ① 幼児教育における地域との交流活動の推進
- ② コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進

- ③地域学校協働活動による社会性の育成と家庭教育の啓発
- ウ. 道徳性や規範意識の醸成
  - ②道徳心の育成
  - ③スマートフォン、インターネット対策の推進
  - ④関係機関等との連携による学校教育活動の支援

(委員からの意見)

- ・幼児期から外国の文化や言葉に触れる機会を多く持ち、慣れさせることが重要だと思う。
- ・「グローバル化に対応する教育の推進」の目標指標を、授業以外で英語を使う機会の回答としているが、小学生と中学生とでは捉え方が様々であったり、考えているレベルが違ったりするため、指標とすることが適当なのか。
- ・「コミュニティ・スクールの推進」の目標指標は、設置した学校数ではなく、コミュニティ・スクールを設置したことで得られた成果に関するものにしてはどうか。
- ・「関係機関等との連携による学校教育活動の支援」の目標指標である校内巡回数は、増えればよいというものではないと思われるため、再検討が必要ではないか。
- ・いじめについて、学校の基本方針を毎年確認する、校内研修等で共有する機会を持つという取組を入れてもいいのではないか。

### 【3】郷土愛

- ア. 津山の歴史・伝統・文化などを大切にする心の育成
  - ①幼児教育における地域との交流活動の推進【再掲】
  - ②郷土愛の醸成と国際感覚の育成
  - ③子ども観光ガイド育成塾の充実
- イ. ふるさと津山に誇りと愛着をもち、地域や社会に貢献できる人の育成
  - ①つやま「夢」サポート（夢サポ）

(委員からの意見)

- ・「幼児教育における地域と交流活動の推進」は【再掲】となっているが、取組内容の記載の順番を入れ替える等、テーマに沿った書き方を検討してはどうか。
- ・ふるさと学習について、津山らしいネーミングを考えてはどうか。

### (3) その他

第6回検討委員会の日程 令和3年12月20日（月）13：30～

- 5. その他
  - なし

- 6. 閉会